

## 小児気道狭窄に関する全国実態調査のお願い

診療責任者殿

拝啓

初夏の候、皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

現在小児の気管狭窄は小児慢性疾患の公費負担がありますが、その他の気道狭窄では入院や治療に多額の費用を要するにもかかわらず全く公費からの援助がない状況です。小児気道狭窄は各施設で取り扱われている症例数が少なく、疾患の自然歴、重症度別の予後や外科治療の有効性などに関する我が国での多数例での検討は存在しないため、それらの精確な実態は不明です。

現状を把握し、今後の政策提言につなげるため、この度、厚生労働科学研究費補助金の事業として、小児気道狭窄症の全国調査を行うこととなりました。今回の研究では国内で小児気道狭窄と診断された症例の実態調査をすることを目的としています。そのため、気道狭窄を扱っている施設の小児外科、耳鼻咽喉科、小児科を対象に、症例数と外科的治療の有無、のアンケートを配布させていただきます。さらに協力をいただける施設を対象に調査票を用いた二次調査を行う予定です。

ご多忙中のところ誠に恐縮ですが、2009年1月1日から2013年12月31日の期間に診断・治療された16歳未満の症例について、次ページのアンケートにご回答いただき、2014年6月 日までに同封の返信用封筒で郵送いただきますようお願い申し上げます。

今回の一次調査には患者の個人情報を含みませんので必ずしも患者の同意は必要ではありません(「疫学研究に関する倫理指針」第3の1(2)イ)。尚、本研究については兵庫県立こども病院の倫理委員会の承認を得ておりますが、ご不明な点がございましたら研究分担者までお問い合わせ下さい。

敬具

2014年6月

(平成26年度厚生労働科学研究費補助金：難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患等政策研究事業))

小児呼吸器形成異常・低形成疾患に関する実態調査ならびに診療ガイドライン作成に関する研究

研究代表者：大阪大学大学院医学研究科 小児成育外科 臼井 規朗

分担研究：気道狭窄に関する全国実態調査

研究代表者：兵庫県立こども病院副院長

前田貢作(責任者)

研究分担者：慶應義塾大学医学部小児科

肥沼悟郎

国立成育医療研究センター耳鼻咽喉科

守本倫子

愛仁会高槻病院小児外科

西島栄治

東京大学医学部耳鼻咽喉科

二藤隆春

(問い合わせ先)

〒654-0081 神戸市須磨区高倉台1-1-1

兵庫県立こども病院 小児外科 前田貢作

電話：078-732-6961

E-mail:komaeda\_kch@hp.pref.hyogo.jp

## 小児気道狭窄に関する全国実施調査（一次調査）

貴施設名 ( )

回答者ご氏名 ( )

e-mail アドレス ( )

Q1: 2009年1月1日から 2013年12月31日までの間に、貴院において内視鏡で診断された**小児気道狭窄**<sup>(注)</sup>の症例はありましたか？

(注) 本研究で対象とされる**小児気道狭窄**とは、以下の4項目をすべて満たす場合とします。

1. 気道狭窄による呼吸困難の症状が必ずある
  2. 気管内挿管、気管切開、鼻咽頭エアウェイなどの管理が必要である
  3. 2週間以上の人工呼吸管理や酸素療法を受けた事がある
  4. 通常の手術で軽快する疾患は除外する(例:扁桃摘出など術後1週間程度で完治する疾患)
- \* 神経性疾患による中枢性呼吸障害、腫瘍性疾患は除外する

あった

なかった

症例は何例ありましたか？

咽頭狭窄症（小顎症・顔面形成異常等）	（ _____ ）例
喉頭狭窄症（声門上・声門・声門下狭窄）	（ _____ ）例
気管・気管支狭窄症	（ _____ ）例
気管・気管支軟化症	（ _____ ）例

Q2: Q1 でご回答いただいた症例のうち、小児気道狭窄の治療として、外科的治療（気管切開や狭窄に対する直接的な治療）や鼻咽腔エアウェイ留置などを行った症例数は何例ですか？

咽頭狭窄症	（ _____ ）例
喉頭狭窄症	（ _____ ）例
気管・気管支狭窄症	（ _____ ）例
気管・気管支軟化症	（ _____ ）例

Q3: 今後行う予定の症例調査票による二次調査（疫学調査）にご協力いただけますか？

協力できる

協力できない

\* 登録の重複を防ぐため、貴院で治療された症例のみで調査ご協力をお願いいたします。

今回の調査項目は以上です。ご協力ありがとうございました。